

第1回益城町新庁舎建設検討委員会議事録（要旨）

○日 時 平成28年12月13日（火） 17：30～

○場 所 益城町役場前ユニットハウス

○会議次第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長あいさつ
- 4 議 題
 - (1) 現庁舎の現状に係る報告について
 - (2) 復興計画における新庁舎建設の位置づけについて
 - (3) 新庁舎建設の位置に係る比較検討について
 - (4) 今後のスケジュールについて
 - (5) その他
- 5 閉 会

○出席者（順不同）

委 員：稲田委員・柿本委員・鳥井委員・小葉委員・橋場委員・宮崎委員・本田委員
宮本委員・住永委員・竹尾委員・嶋田委員
（欠席者）澤田委員・菅委員

事務局：西村町長・門崎政策審議監・森田総務課長・川崎課長補佐・富永係長・富田主査

■配布資料

- ・会議次第（裏面：新庁舎建設検討委員会委員名簿）
- ・新庁舎建設検討委員会委員座席表（裏面：新庁舎検討委員会設置要項）
- ・資料1：現庁舎の現状に係る報告資料
- ・資料2：復興計画における新庁舎の位置づけ
- ・資料3：新庁舎建設位置に係る比較検討について
- ・資料4：今後のスケジュール
- ・資料5：意見用紙

■委嘱状交付

- ・西村町長より各委員に委嘱状交付（委員を代表して柿本委員受領）

■町長あいさつ

■委員長・副委員長選出

- ・委員長に稲田委員、副委員長に柿本委員を選出

■委員長・副委員長あいさつ

■議 題

議題（１）現庁舎の現状に係る報告について

- ・事務局より現庁舎の問題点及び被災度区分判定結果の概要について説明。

議題（２）復興計画における新庁舎建設の位置づけについて

- ・事務局より復興計画における新庁舎建設の位置づけについて説明。

【質疑・ご意見等】

- (委 員) 復興計画でも委員会より先に新聞に情報が載るなど、結論ありきで進めているのではないか。前もって計画があるなら先に示していただきたい。
- (事務局) 計画は決まっていない。まだ今日が1回目の委員会で、皆様方から色々のご意見をいただいて、最終的な庁舎の位置等を決定したい。
- (委 員) 新庁舎建設検討委員会の位置づけは、復興計画の実施計画を議論する場か、復興計画とは独立した形で議論する場なのか。
- (事務局) 復興計画の中で、今後の推進体制ということで、5つのシンボルプロジェクトを設けさせていただいている。その中の一つがこの防災に特化した新庁舎の建設ということ。実施計画の中の1つでもあると思うが、同時並行的にやらせていただきたい。
- (委 員) 被災度区分判定結果の説明の中で杭の損傷とあるが、どのタイプの何メートルの杭なのか。
- (事務局) 28メートルの杭で支持杭が入っている。
- (委員長) ここで、地質学専門の鳥井先生にボーリング調査の結果について、ご説明をお願いしたい。

【ボーリング調査（国土技術政策総合研究所による地質調査）結果の概要説明】

- (1) 役場周辺の地質をどう捉えるか。
- ・一番深い砥川溶岩（約100m）は非常に固い地盤。
 - ・その上の阿蘇2及び阿蘇3（阿蘇3は約50m）はある程度固い地盤。
 - ・その上にある阿蘇4及びその上の火山灰は白砂土で柔らかい地盤。
 - ・杭を打つのであれば、砥川溶岩まで打つのが一番いいが、その上の阿蘇2・阿蘇3のかなり硬い部分まで杭を打つのは重要なこと。

(2) 問題は、活断層をどう捉えるか。

- ・今回のような活断層型の地震は1000年とか2000年周期で来ている可能性が非常に高い。役場の耐用年数より長いから、その点をどう捉えるか。
- ・構造物を建てるのであれば、断層の真上は避けたほうがいい。
- ・国土交通省の地盤調査と併せ、役場周辺も砥川溶岩までボーリング調査を行ったほうがいい。

議題(3) 新庁舎の位置に係る比較検討について

- ・事務局より「新庁舎建設位置に係る比較検討表」について説明

【質疑・ご意見等】

- (委員) この比較検討表には、例えば費用の面とか経済性といっても、課題とその対策が記載されていないので判断できない。また、実現性も事業認定、農振除外や農地転用でどのくらいかかるから、どちらがいいなどの具体的な比較が必要。
- (事務局) 次回の会議で比較検討表に具体的な記載を加えてお示ししたい。
- (委員) 熊本高森線の4車線化の計画で、この高森線周辺は都市拠点にならない。4車線化でただ通過するだけの場所になってしまう。
- (委員) 砥川溶岩の地盤までいくには、何mくらいかかるのか。
- (委員) 今のところ、深くとも100mはいかない。砥川溶岩までいなくても、阿蘇2とか阿蘇3でも強度があることがわかれば十分かと。ただ、それを担保するうえで、ボーリング調査を何本かやっておいたほうがいい。
- (委員) この委員会は、庁舎だけを議論するのか。仮に現庁舎位置に建替えるとした場合北側に中央公民館や体育館もあるので、一体的に議論する必要がある。
- (事務局) この庁舎建設検討委員会については、庁舎の建設というところで特化した委員会とさせていただいている。
- (委員) それでは、仮に他の場所に建てた場合に、庁舎だけということになるのか。
- (事務局) 今後、復興計画シンボルプロジェクト推進のPTを立ち上げるので、その中で面的な整備も議論し結果をお示ししていきたい。
- (委員) この比較検討表を見る限り、現庁舎の位置で建替えるか建替えないかというところの判断が、安全性のところだけになってくるように思う。木山の区画整理とかもたぶんされると思うが、面的なところも含めて町をどうやって再生していくのか考えていく必要がある。国の調査はいつ出てくるのか。
- (事務局) 12月末に中間報告が出されることになっているので、次回の検討委員会で国土交通省の調査結果を報告する。

議題（４）今後のスケジュールについて

- ・事務局より新庁舎建設検討委員会の今後のスケジュール（案）について説明。

【質疑・ご意見等】

- (委員) このスケジュールでいくと庁舎の位置の決定というか、確定は随分先になる。庁舎の位置が決まらなければ、議会で復興計画が承認されるということは難しいんじゃないか。事務局の考えを聞きたい。
- (事務局) 町議会の方から復興計画の策定までには庁舎の位置を決定する必要があるとの提言をいただいているところ。復興計画では、現在地を中心に行政機能を集約させて頂くというところでの街づくりの計画になっている。今回できればある程度方針を決めさせていただきたいとの思いもあったが、国土交通省の直轄調査の方が今日の時点で間に合わなかった。これについては、ある程度町民の方々の安心感というような議論もあるので、次回、国土交通省の調査結果を踏まえて早急に開催させていただきたいと思っている。
- (委員) 確かな問題点にあるのは、地層というか地盤の話だろうと思う。一応、現在地付近を仮置きして進めると議会にも説明しやすいのでは。
- (事務局) 宜しければ例えば条件付きということではないが、次回、国土交通省の直轄調査や建築の専門の方に耐震、あるいは免震というような技術を踏まえたうえで、現在地付近での再建について議論させて頂ければと思っている。

(以上)